

## 郷土と地図学習 加賀友禪

金沢市立味噌蔵町小学校 新谷貴晴

### 1 郷土と地図学習

新学習指導要領では、「我が国における自分たちの県（都、道、府）の地理的位置」や「47都道府県の名称と位置」が新たに加えられた。4年生の「県の様子」の学習で、県の地図を広げ県の地形や産業、県内の特色ある地域について学習に取り組んでいる。地図や統計資料を活用して、伝統的な工業などの地場産業のさかんな地域について、県内だけではなくわたしたちの県と他の都道府県とのつながりを見つけながら学習している。

### 2 地図帳で学ぶ郷土の伝統工芸 加賀友禪

県地図で、わたしたちの住む金沢市に伝統工芸「加賀友禪」の絵記号を見つけることができた。絵記号のまわりの様子を観察させ、実物を見せながら、なぜ金沢市で加賀友禪が制作されているのか予想させると、子どもたちは、「昔から制作されているから」「作家の方が多いから」「友禪流しをする川があるから」など、人や歴史、地形について調べる視点を持つことができた。さらに、地図帳や市の副読本等を使って調べたり、地域の友禪に携わる人に質問したりして調べた。また、加賀友禪の制作体験に挑戦することで、友禪に携わる人たちの思いにふれられるようにした。その制作体験の過程は、総合的な学習の時間に取り組んだ。

加賀友禪の歴史については、地図帳で「加賀友禪」のイラストを見つけることができ、今の金沢市周辺が「加賀」とよばれていたことがわかった。そして、300年あまり前に京都府から宮崎友禪斎が移り住み「加賀友禪」の基礎を打ち立てたこと



『楽しく学ぶ小学生の地図帳』 p.31

を知った。京都府を地図帳で調べてみると、伝統工芸「京友禪」の絵記号があり、京都府とのつながりを見つけることができた。そして、他の都道府県の伝統工芸についても、それぞれの県で伝統工芸があること、似ているものやわたしたちの県にないものも見つけることができ、他の都道府県について興味を持つことができた。

制作過程を調べ・体験することで、「水洗い」がかつて浅野川でたくさん行われ、「友禪流し」として春を呼ぶ風物詩であったことを知った。地図や金沢の気温の様子を調べることをもとに冷たい川の流れて行われてきたことも理解していった。

### 3 地図帳からの学びを他の学習活動とつなぐ

地図帳から学んだことや考えたことをさらに人に聞いたり、調べたりできた。また、調べてわかったことを地図帳で確認することができた。制作体験では、友禪にかける作家の技や思いにふれ金沢市の伝統文化のよさを体感するとともに、人や歴史から学んだことをいかして他の都道府県の伝統文化も尊重することができるように考えた。